



มูลนิธิดวงประทีป
Duang Prateep Foundation
ก่อตั้งปี พ.ศ. 2521 /since 1978

มูลนิธิดวงประทีป 34 ล็อก 6 ถนนอาจณรงค์ แขวงคลองเตย เขตคลองเตย กทม. 10110
โทร. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 โทรสาร : 02-249-5254
DUANG PRATEEP FOUNDATION lock 6, Klong Toey, Bangkok Thailand 10110
Tel. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 Fax : 02-249-5254
E-Mail: duangprateepf@gmail.com, dpffound@gmail.com <http://www.dpf.or.th>

新年のご挨拶と事業報告

あけましておめでとうございます。あらゆる苦しみや病から解放され、幸せに満ちた一年でありますようにお祈りします。
善行のみを絶えず行おうと努めるならば、必ずや心身の健康を手にすることができるでしょう。

ドゥアン・プラティーブ財団理事長
サン・ハティラット名誉教授（医学博士）

皆様のご多幸と2026年の新年をお祈り申し上げます。子どもたちや恵まれない人々の成長に対するご理解とご支援に深く感謝申し上げます。皆様のご厚情とご支援のおかげで、ドゥアン・プラティーブ財団は子どもたちや恵まれない人々のより良い未来のために、設立47年目を迎え、今日も力強く活動を続けております。弊財団は、2025年度の主な活動を下記の通りご報告いたします。

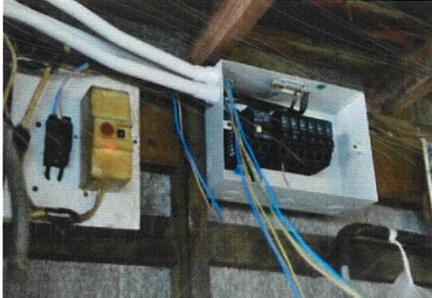
2025年、ドゥアン・プラティーブ財団は以下の3つのプロジェクトを開始しました。

1. コミュニティ配線工事プロジェクト：



クロントイ地区は70年以上の歴史を持つコミュニティであるため、多くの家屋で老朽化した配線からの漏電が火災の原因となっていました。ドゥアン・プラティーブ財団はクロントイ内の各スラムの住民委員長および区の職業訓練校と連携し、老朽化した配線やコンセントの交換、

そして新たな配電システムの設置プロジェクトを開始しました。財団は電線などの必要な資材を提供。クロントイの職業訓練校では電気工学課程を修了した学生を派遣し、配線工事をパイロット的に実施しました。この事業のキックオフイベントには、バンコク都知事のチャット・シティブン博士や区長も臨席しました。



2. コミュニティ電気技師養成奨学金プロジェクト：

上記の配電工事に関連して、本プロジェクトは地域の若者に安全な電気配線・設置技術の訓練を提供し、彼らが電気技師として就職できたり、自立していけるための実践的な技能を身につけてもらうことを目的としています。

3. クロントイ・エンタープライズ株式会社の設立：

この社会的企業の設立は、クロントイのスラムコミュニティを廃棄物管理と分別処理のモデル地域とし、健全な環境づくりを目指すためのものです。ドゥアン・プラテイーブ財団は、地域のコミュニティや地域内の関連団体と連携・共同出資し、株式会社を設立。同社はペットボトル、紙、ガラス瓶、缶などを買い取り、環境意識の向上とリサイクル活動の啓発などを行っています。

また、弊財団が行うお話しキャラバン・プロジェクトは、人形劇やビンゴなどの楽しいゲームを通じて環境意識の向上を促進し、子どもや地域住民に廃棄物の管理について啓発しています。本プロジェクトは人形劇を98回上演し、延べ18,410人の子ども、若者、教師が参加しました。

これら3つの新しい事業の他に、通常事業の特筆すべき点についてご報告いたします。





日泰寺様の招聘で日本語研修：



日本の愛知県名古屋市にある日泰寺様は、タイの仏教界と長年にわたる交流関係を持つ寺院です。この度、日泰寺様の招聘で、クロントイ区にあるワットサパーン寺のタイ人僧侶1名と弊財団の職員1名が9月から11月までの3ヶ月間、名古屋の語学学校で日本語の研修の機会をいただき、今後の日本とタイの文化・宗教交流の発展に繋げていくことになりました。

ドゥアン・プラティープ幼稚園：

弊財団が直営する幼稚園では、モンテッソーリ教育の実践に171名の園児が在籍する中、5月に園庭に生えていた大樹の鳳凰木ほうおうぼくが午前11時45分に風倒するという事故が発生しました。幸いにも園児や教職員はその場にいませんでしたが、大きな枝が屋根や遊具数点を損傷しました。このことを知ったオーストラリア在住のクレア・バーガーさんとティム・バーガーさんご夫妻とお二人の友人たちは資金を募り、ボランティアとして時間を割き、園児たちのための遊具と遊び場を再建してくださいました。心から感謝いたします。



関連して、月～金曜日まで毎日交代で園児たちに英語教室を開いてくださっている外国人ボランティア教師の方々にも、深く感謝申し上げます。



介護実習のための日本語研修プログラム：

このプログラムは、JICA（国際協力機構）との協力により、現在カンチャナブリ県のサイヨックマニカーン学校に青年海外協力隊の日本語教師を派遣して行われています。現在、このプログラムには18の公立学校が参加しており、約70人の若者が日本へ介護実習生として派遣されています。



仙台育英学園への留学事業：

仙台育英学園沖縄高等学校には、沖縄県で日本語を学び、高校3年間の学業を継続し、日本の伝統的な武道であるなぎなたを行うための奨学金をご提供いただいています。今年、同財団はシーカー・アジア財団を

通じて、モン族とティン族の女子生徒2名を派遣しました。現在は、弊財団を通じて留学し

ているパコーン・トンピラさん（ブンビム）とワラニャ・チョンセンさん（アム）にも同

奨学金が支給されており、2026年3月には高校を卒業し、タイに帰国する予定です。ブンビムさんは、カンチャナ

ブリで介護者のための日本語研修プログラムに参加し、福井県で介護士として働くことをめざします。また、アムさんは、帰国して更なる進学をめざす予定です。



生き直しの学校（チュンポーン校・カンチャナブリ校）：



生き直しの学校は、養育できない家庭の子どもや若者、家族や近親者から虐待を受けた子ども、遺棄された子どもなど、様々な子どもや若者への支援とケアを続けています。弊財団は、彼ら・彼女らを温かく迎え、教育とより



良い生活の質を提供することで、成長を見守り続けています。現在、プロジェクトには両校で87人の子どもと若者が参加しており、11人が大学に進学、33人が中等教育、27人が初等教育、4人が幼稚園に、12人が非公式教育を受けています。特に注目すべきは、チュタラット・セナチュムさん（バムさん）の功績です。彼女はドゥアン・プラティープ幼稚園で英語のアシスタント教師として働き、外国人ボランティアと連携し

て活動しています。彼女は週末を利用して勉学に励み、デジタルビジネステクノロジーの学士号を取得しました。

奨学金事業：



本事業については、2025年にご支援者から奨学金を受け取った児童・青少年の数は、高等教育が71人、職業教育が86人、高校が57人、前期中等教育が167人、小学校が220人、幼稚園が36人であり、そのうち18人が学士号を取得しました。

高齢者支援事業：

本事業は、スラム街の高齢者250名の健康増進を目的としています。毎週木曜日には、グループでの祈り、瞑想、ニュースの聴取、食事の共有、歌、タイの伝統舞踊、運動など、様々な活動を行っています。2025年には、Loxley Evolution Technology Co., Ltd.の支援を受けて歯科検診を実施し、地域の保健センターでは高齢者向けの年次健康診断を実施しました。



防災事業：

2025年の防火対策プロジェクトは、13件の火災を迅速に消火し、防火に成功したことで、地域社会の苦難を軽減することができました。



新年を迎えるにあたり、皆様のご努力、知力、そして財力を子どもたちや恵まれない人々のために捧げられた功德が、皆様のご多幸と健康、そして皆様の願いの成就をもたらしますよう、改めてお祈り申し上げます。

Platip U. Holt

プラティーブ・ウンソンタム秦

ドゥアン・プラティーブ財団創設者・事務局長